

第44回 2023年

# 丹沢クリーンハイク

## 報告集



神奈川県勤労者山岳連盟

---

後 援 神奈川県／丹沢大山クリーンピア21

協 賛 丹沢自然保護協会／丹沢ブナ党／丹沢ドン会／丹沢ゴミ調査会  
秦野の自然と環境を守る連絡会／伊勢原の自然と環境を守る会  
尾瀬の自然を守る山ゆりの会／相模川キャンプインシンポジウム  
グリーンタフ(神奈川県自然観察指導員連絡会)  
神奈川の自然を守る連絡会(神奈川県グリーンネット)  
神奈川大学ワンダーフォーゲル部／NPOみろく山の会  
新日本スポーツ連盟神奈川県連盟

---

## 目 次

■ 実行委員長挨拶	3～4
■ 2023年丹沢クリーンハイク実施要領一覧	5
■ 2023年ゴミ集計表	6
■ 1986年～2023年のゴミの集計表(グラフ)	7
■ 2023年丹沢水質調査報告	8
■ 1991年～2023年水質推移	9
■ 参加者感想文	10～25
水質調査／清掃登山／登山道整備／前夜祭	
■ 1986年～2023年のゴミの集計表(実数)	26～29
■ 自然保護憲章	30
■ 神奈川県勤労者山岳連盟加盟団体	31

2023年5月28日第44回丹沢大山クリーンハイク

## 丹 沢 に 年 に 一 度 は 恩 返 し

今年にはクリーンハイクを例年通り実施したい、と自然保護委員会、事務局を通し、連盟ニュース掲載などにより、各山の会の皆様に参加を呼び掛けさせて頂きました。

例年は、前日の土曜日に沢の3コース（勘七沢、源次郎沢、水無本谷）から沢の出合・ツメより水質調査用採水をお願いしておりましたが、今回は、後沢の水場・二俣出合、塔ヶ岳水場、用木沢出合の箇所にて採水を実施しました。

塔ヶ岳水場は、クリーンハイク当日にAC横浜のメンバーに委託し、用木沢出合は、後日改めて小田原ナーゲルのメンバーが手を挙げてくださり採水することが出来ました。

採水調査結果は後日、新日本検定協会より報告を受け取る予定です。



さて、クリーンハイク当日は、曇り☁模様とまずまずのお天気です。

大倉本部では8時から受付開始。山ブキの会、川崎労山、地平線の会、そして関根の5名他、その場にいらっしゃる方々にお手伝い頂き、ビジターセンターから机・椅子を各1脚お借りしてスタートしました。受付では、スムーズに計画書を受け取り、参加御礼品（ボールペン）ごみ袋・トング数本・緑の小旗（クリーンハイク呼び掛け用）をお渡ししました。

8時半に開会の挨拶。早川理事長より言付かった挨拶文を読み上げ、皆さんがケガのないように、水分補給も充分に取りながらの行動して頂くようお願いしました。クリーンハイクへ出発開始です。

### <早川神奈川県連理事長からの開会式メッセージ>

ご参加の皆様、

自然保護活動へのご理解、クリーンハイクへの参加ご協力、大変ありがとうございます。まずは皆様方へお礼申し上げます。

日差しは既に、夏の季節のものとなっております。  
また、今回は普段の山行とは違った行動となります。  
どうか体調管理、けがや事故防止にはくれぐれもご注意下さい。

今日1日、神奈川県連盟上げての行事となります。  
所属会や他会会員の方々との交流含めて、楽しむ気持ちでお過ごし下さい。  
宜しくお願い致します。

お昼過ぎ、一番最初に元気下山して来たグループは新スポ・ウォーキング部のメンバーでした。見晴らし茶屋で接待されたコーヒーに喜んでおられました。

蛇足ですが、大倉本部、ヤビツ本部担当の数人は見晴らし茶屋前泊(食担みずなら山の会員)で食担が腕を振るった煮込みハンバーグは野菜いっぱいの美味しい晩餐でした。

今回の参加者総数は 118名  
ごみ総数 68.39kg  
という結果でした。

登山道にはゴミは無いと言われてますが、それでも皆さんは集めてきますね。  
ザックの脇に刺した緑の小旗が皆さん(登山者)の目に留まり、啓発活動の思いを込めた気持ちに伝えるように、頑張ってくださいの声掛けで励まされますとの感想を聞きました。  
いつまでもゴミのない気持ちの良い登山道を願っています。

クリーンハイク実行委員長 関根さち子

## ●第44回 2023丹沢クリーンハイク実施要綱一覧

5/27 ○水質検査 後沢乗越水場、二俣(渡辺、伊藤)  
 5/28 塔ノ岳の水場、大倉高原水場(AC横浜)

5/28 ●大倉本部(大倉バス停前) ●ヤビツ本部 ヤビツ峠バス停前  
 ・受付開始 8:00 ・受付開始 8:30  
 ・会のメンバーが揃い次第、本部に参加人数を連絡し山行計画書を提出。  
 ・軍手・ゴミ袋・トング・小旗・記念品を受取る  
 ・開会式 :8:30

●本部要員 ●本部要員  
 関根(090-8043-8673) 渡辺(090-2422-6644)  
 伊藤、山ブキの会2名

### ●クリーンハイク

入山口	コース	清掃場所	下山口	担当会	リーダー	会員	一般	
大倉	A. 大倉高原 見晴茶屋 堀山の家	大倉一大倉高原一堀山 の家  大倉-見晴茶屋	大倉	川崎労山	野々村	6		
				藤沢山の会	柿木 都	8		
				横浜HC	形屋	4		
				山ブキの会	佐藤	2		
				新スポウオーキング	平石		4	
	C. 大倉尾根 塔ノ岳	花立山荘一塔ノ岳		相模AC	杉浦	5		
				AC横浜	外山	8		
				〃	個人参加	齊藤 健		2
				大倉本部			1	
				地平線の会	鈴木	6	1	
ヤビツ峠	F. 表尾根 三ノ塔 二ノ塔	二ノ塔一三ノ塔 一大倉 菩提峠一三ノ塔	ヤビツ峠	みずなら山の会	小川	11		
				相模AC			1	
	H. 大山 イタツミ尾根			ヤビツ～大山 ～ヤビツ	川崎HC	小柳	15	
大野山				小田原ナーゲル	石崎	6		
						<b>73</b>	<b>7</b>	

### ●登山道整備

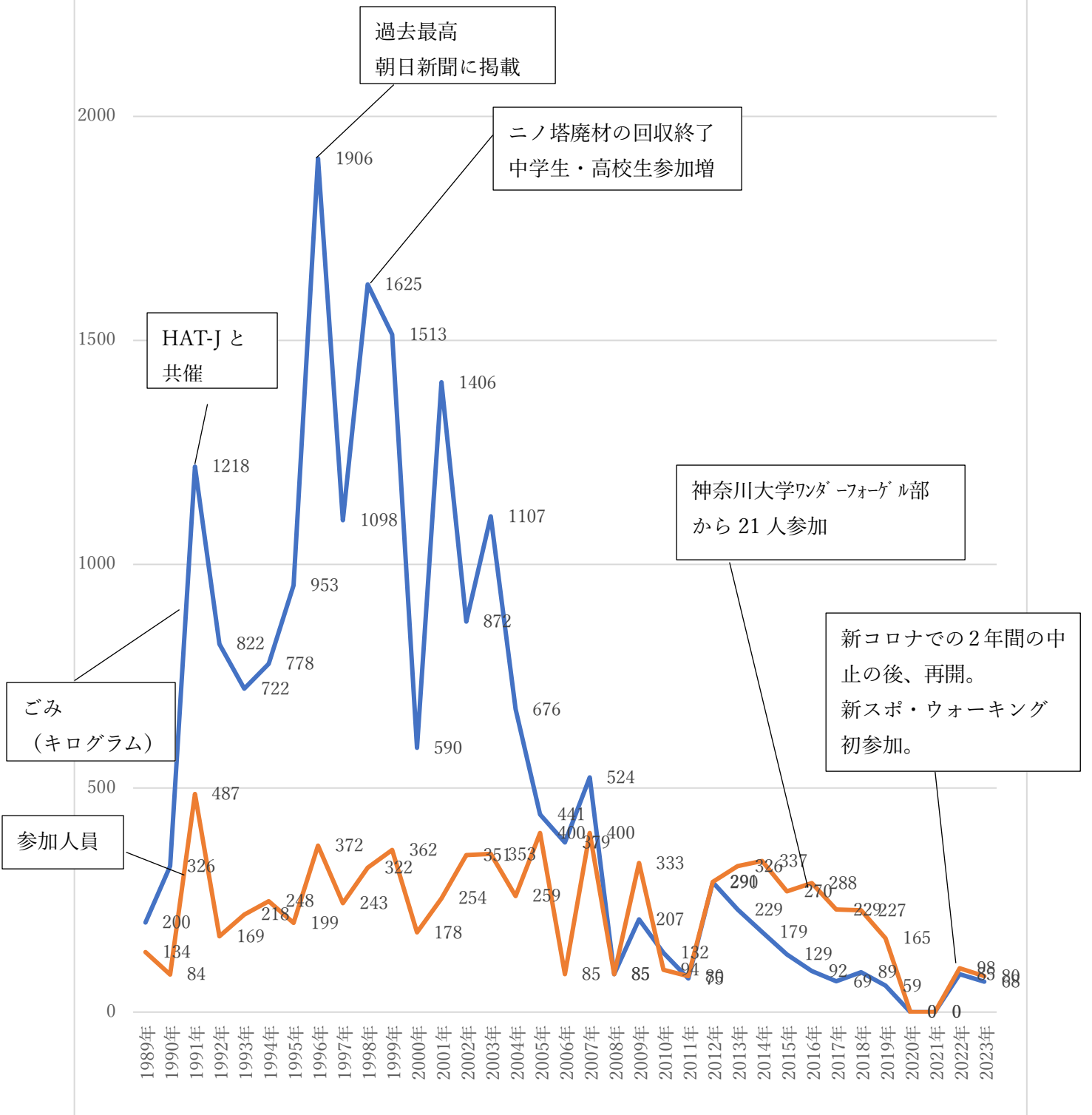
ヤビツ峠	二ノ塔～ 三ノ塔		ヤビツ峠	藤沢山の会	中澤靖彦	8	
			大倉	川崎HC	川上勝男	3	
			ヤビツ峠	みずなら山の会	寺田郁夫	3	
			ヤビツ峠	AC横浜	内藤	2	
			大倉	やま++	中村潤一	3	
						<b>19</b>	

要員	大倉本部	ヤビツ本部	水質調査	合計	会員	一般
他	5	3	5	<b>112</b>	105	7

## 2023年ゴミ集計表

	担当会	参加人数	不燃ごみ	可燃ごみ	合計
A 大倉尾根	川崎労山	6	4	3.1	7.1
堀山の家	藤沢山の会	8	2	0.8	2.8
	横浜HC	4	2.25	1.24	3.49
	山ブキの会	2		0.2	0.2
堀山の家	新スポウオーキング	4		0.5	0.5
C 大倉尾根	相模AC	5	2.3	1.7	4
塔ノ岳	AC横浜	8	7	5	12
	一般参加 齊藤	2			0
大倉本部		1		0.1	0.1
G 表尾根	地平線の会	6	0.2	4	4.2
	三ノ塔	1			0
I 大山	川崎HC	15	10.5	3.5	14
イタツミ尾根	相模AC	1			0
G 三ノ塔	みずなら山の会	11	3	1	4
					0
大野山	小田原ナーゲル	6	12	4	16
計		80	43.25	25.14	68.39

# 1985年～2023年ごみ集計表



## 2023年丹沢水質調査

### 水質調査結果

◇採水日：2023年5月27日(土)～6月18日(日)

◇採水会：アルパインクラブ横浜・小田原ナーゲル

採水場所	大腸菌	採水場所	大腸菌
塔ノ岳水場	不検出(陰性) ○	二俣	検出(陽性) ●
大倉高原山の家	検出(陽性) ●	一軒避難小屋前水場	検出(陽性) ●
後沢乗越水場	検出(陽性) ●	用木沢出合	検出(陽性) ●

◇計量の対象 = 大腸菌 / 100ml (財) 新日本検定協会

神奈川県勤労者山岳連盟では、1991年から丹沢の沢や水場の水質検査をしています。1991年～2004年までは、「大腸菌群」、2005年から現在までは検査料が安価になり、「大腸菌」の検査ができるようになりました。大腸菌が検出された(陽性●)ということは糞便汚染があることを意味しています。

今年は5ヶ所で大腸菌が検出されました。

今回、大腸菌が不検出(陰性○)のところでも、天候の条件などによって検出されることがありますので、飲む場合は、沢の水は上流であっても煮沸することをお奨めします。

水場の採水は2014年からは、丹沢ボラネット(※参照)の水質調査に協力して実施しています。また、今年は沢の採水が出来ませんでした。沢の採水はリスクがあり、来年以降については検討中です。

これからも丹沢の水質調査を行っていきますので、引き続きご協力をよろしくお願いします。

※ 丹沢大山ボランティアネットワーク (略称：丹沢ボラネット)。

丹沢大山で自然環境に関わる活動を実践しているボランティア団体のネットワーク。神奈川県の実業家や企業、個人、市民の支援のもと、現在30をこえる団体が参加している。



## 丹沢山城水質調査結果(過去31年間の推移)

地図	A	B	C	D	I	J				K		P		E	F	L	M	N	O			
採水場所 年月日	水無本谷出合	水無本谷ツメ	源次郎沢出合	源次郎沢ツメ	勘七の沢出合	勘七の沢ツメ	一の沢取水口	一の沢ツメ	見晴小屋	大倉高原山の家	見晴水場	後沢乗越水場	二俣	竜神の泉*湧水	竜神の泉*流水	塔ノ岳水場	葛葉の泉	春岳沢水場	ゴマ屋敷水場	一軒家避難小屋前水場	用木沢出合	
2023/5/28	-	-	-	-	-	-				●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	●
2022/5/28	●	○	●	●	-	●						●	●	○		○	○	○	○	○	●	-
2021中止	-	-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2020中止	-	-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2019/5/25	●	●	●	○		○						○	●	○		○	○	●	○			
2018/5/26	●	○	●	●		○				-		○	○	○			○	○	○			
2017/5/27	●	○	●	○	●	●				●		●	●	○		○	○	○	○			
2016/5/28	●	○	○	○	●	○				○		●	●	○		○	○	○	○			
2015/5/30	●	○	●	○	●	●				○	○	●	●	○		○	●	○	○			
2014/5/24	●	●	○	○	●	○	○	○	-	●	●	○		○		○	○	○	○			
2013/5/25	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○		●		○	○	○	○			
2012/5/19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○			
2011/5/28	●	○	●	-	●	○	○	○	●	○	○	○		○		-	○	○	○	●		
2010/5/29	○	○	-	-	●	-	●	●	●	○	○	○		○		○	○	○	○			
2009/7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○		○	●	●	-	○	○			
2009/5/30	●	○	●	○	●	●	●	●	-	●	-	●		-	●	○	○	●	○			
2008/5/24	○	○	○	○	●	-	-	-	-	●	-	○		○	-	○	○	○	○			
07/5/26	●	○	●	○	●	●	-	-	-	●	-	-		○	-	○	○	○	○			
06/5/27	●	○	●	●	●	●	-	-	-	●	-	○		○	-	○	○	○	○			
05/5/28	●	○	○	-	○	○	-	-	-	●	-	●		○	-	○	●	●	○			
04/5/29	● 2	● 1	● 9	● 1	● 5	○	戸沢出合	戸沢ツメ	-	● 1	-	● 1		○	-	● 51	○	○	○			
03/5/24	● 9	● 2	● 11	● 2	● 4	○			-	● 3	-	○			○	-	○	○	○	○	● 1	
02/5/25	●	●	●	○	●	●	●	●	-	●	-	●		○	-	○	○	○	●	○		
01/5/26	●	○	○	○	●	●	●	●	-	●	-	-		○	-	○	○	○	○			
00/5/27	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	-	●		○	-	●	●	-	●			
99/5/29	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	-	●		○	-	○	-	-	○			
98/5/30	●	●	●	●	●	●	-	●	-	●	-	●		-	-	●		-	-			
97/5/24	●	●	●	●	●	●	-	●	-	●	-	●		-	-	○	-	-	-			
96/06	●	●	●	○	-	-	-	○	-	●	-	●		-	-	○	-	-	-			
95/6/04	●	○	●	○	●	●	●	○	-	●	-	●		-	-	○	-	-	-			
94/6/05	●	-	●	●	●	●	○	●	-	●	-	●		○	●	○	-	-	○			
93/6/13	-	-	●	-	●	-	○	-	-	-	-	-		○	●	-	-	-	○			
92/6/14	-	-	●	-	●	-	●	-	-	-	-	-		-	●	-	-	-	-			
91/6/09	-	-	-	-	○	●	●	-	-	-	-	-		-	-	-	-	○	-			

\* 2023年竜神の泉、葛葉の泉、春岳沢水場、ゴマ屋敷水場はボラネットの調査結果より転記

《不検出(陰性)○、検出(陽性)●、調査無し-》      ◇計量の方法=上水試験方法

◇計量の対象=大腸菌/100ml(2005~2011年)、大腸菌群数/1ml(2003~04年)

大腸菌群/50ml(1991~2023年)

◇計量依頼先=(財)新日本検定協会(1995-2023年)

(株)日本環境クリエイト(1991-1994年)

## 【参加者感想】

### ◎水質検査

2023 年度 西丹沢採水報告書

小田原ナーゲル山の会 石崎 淳一

首題の件、以下に報告します。

1. 用木沢出合：昨年、登山道崩壊の為採取できなかったが今回は無事にできた。



YD-①



YD-②



YD-③



YD-④

2. 一軒屋避難小屋：採水は問題なかった。相変わらず昔廃棄された瓶、缶類が多数あった。採水場所付近で焚火、BBQ を行った痕跡があった



IH-①



IH-②



IH-③



IH-④



IH-⑤

- 所感： 昨年は白石峠に向かう林道が脱落していたため、採水ができなかったが、今年は無事採水ができた。詳細は水質調査採水票及び上記写真（YD-①）から YD-④）を参照願います。
- 一軒屋避難小屋は2回目の水質調査採水となった。この付近は登山者が休憩する場所で、多くの登山客が利用すると思う。写真 IH-③あたりが一番ゴミが多かった。ゴミは古いモノ（ビン／缶類）が主だった。以前廃棄されたものだと思う。マナーが徹底されていない頃の産物に違いない。今回特筆すべきことは、恐らく一軒屋避難小屋に泊まった登山客が焚火をした痕跡があった。（IH-④）金属製の網と燃えた木片があった。昨年はなかった事からこの1年間で行われたものかと推測する。折角の注意喚起を記載した看板（IH-⑤）が泣いているように見えた。

## ◎清掃登山

### 山ブキの会

宮坂 洋子

丹沢に年に一度は恩返し！ のクリーンハイクの案内が届いた。

今年も受付ならばと2名で参加しました。

ビン・缶用の袋、トングなどを手渡ししながら久しぶりの仲間と会えて、参加者を送り出しました。その間、見晴らし茶屋までクリーンハイクの宣伝もかねて旗をリックに差し、トング、袋を持ち出かけた。

藤沢山の会の高橋さんとも久しぶりに会え、コーヒーも頂き交流できた。

再び大倉へ下り、皆さんがゴミ袋を抱えて笑顔で帰ってきます。

“おかえりなさい” “おつかれさま” と声かけして、この時間は受付のいちばん楽しい時です。

実行委員会の皆さま今年も成功に終わってご苦労様でした。

山ブキの会もこれからも山行はトングと袋を持って、ゴミを拾いながら歩きたいと思います。

### 川崎ハイキングクラブ（イタツミ尾根コース）

守口 尚美

日程：5月28日（日）

行程：ヤビツ峠～イタツミ尾根～大山～ヤビツ峠

参加者：小柳昭（CL）、河合（SL）、佐藤隆、山口、  
佐藤メ、宮地、小柳康、守口、渡辺の、伊藤修、  
橋本京、大河原、橋本清、大原、大塚（お試し）15名

恒例行事であるクリーンハイクに今年も参加できた。年に1度、この行事で一緒するメンバーの元気な活動に接する事も楽しみの一つだ。蒸し暑さが気になる季節だが、歩くには程よい涼しい風が心地よく、輝く新緑のトンネルの中を上っていく。

グロテスクな色のマムシグサは、開いたばかり。小さな小さなトウモロコシのような緑の頭をちょこっと出してかわいらしい。咲きたての山ツツジの色が一際目立ち、サラサドウダンも花盛り。前に行く方が、大きな瓶をゲット。こちらも、負けじと大きな獲物？（ゴミ）はないかと、鳥目で霞む目を凝らす。朽ちた空き缶が斜面から顔を出していると、あつたあつたと、掘り出しながら、ちょっとした喜び？ 登山道は綺麗だが、道の脇に投げ込まれたゴミが散乱している箇所がまだまだあるようだ。

クリーンハイクが初めての新しい方も参加していたので、大山の山頂も見てみようと、グルリと回ると、実に大勢の登山客で賑わっている。その人込みをかき分け通過すると、ご苦労様、ありがとうございます、声をかけてくれる登山客も。山ではゴミは鼻紙さえも持ち帰るとい意識が山を登ってくる人達の常識になるといいですね。





下りは、両手が塞がり、滑る。特にガラ場はバランスを保って降りることに集中し、仕事や健康の話で口は動かすも、ゴミ拾いどころではなくなった。歩き足りない人達は蓑毛方面へ。バス待ち組はカフェでまったりと。二手に分かれ解散になった。  
今年もお疲れ様でした！

## 地平線の会 (三ノ塔コース)

鈴木 容子

昨年に続き二度目のクリーンハイク参加でした。  
集合場所②のヤビツ峠バス停でクリーンハイクセット（緑の小旗、軍手、ゴミ袋、トング）を渡され小旗はザックの横ポケットに取り付けて出発しました。  
表尾根三ノ塔コースを六人で担当しました。  
当日飛び入り、初めて参加の方の同行で、皆さん大感激！ いろんな会話を楽しみながらのクリーンハイクでした。車道から林道では結構ゴミがありましたが、登山道に入るとあまり見られず、休憩場所では散見されるものの登山者のマナーの良さが感じられました。  
また、緑の小旗を皆でつけているので、多くの登山者の方から「ご苦労様です!」と声をかけられて交流があるのも楽しかったし、またゴミを捨てないでキャンペーン活動にもなっていると思いました。  
今回は快晴ではなくて気温もそれほど高くならず、三ノ塔ではすこし寒い位でしたが、熱中症の心配もなく行動できて良かったです。

一緒に歩いた一般参加の葛西さんが感想を送って下さいました。  
葛西さんは百合丘の喫茶店(やま++の会員の方のお店)に行ったとき、ポスターを見て参加された女性です。

\*\*\*\*\*

素敵な皆さんとの出逢いに感謝です。

最近旅をしていますが、素敵な人々との出逢いは旅のようなものなので、今回のチョイスも我ながら大成功！と喜んでおります。

細々とでも、山に登っていたからこそ、今回のイベントポスターが目につき、『そうだ〜、年に一度は恩返しだよ』と思った次第です。

少なからず自然や環境保全に興味があり、何かしら役に立てればと思っていたので、普段心地良く登らせてもらっている山に感謝の気持ちをこめて、少しでも何かできたかなあという思いです。

また、機会がありましたら、皆様ともお会いできたら嬉しいです。

今日は一日ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

自然保護委員会の皆さんがクリーンハイクを継続してきた成果が、こんな風に実を結んでいると思った次第です。

山行日：5月28日（日） 大倉尾根・堀山の家コース：4名 晴れ

『丹沢に年に一度は恩返し』の標語の下、神奈川県勤労者山岳連盟主催の第44回クリーンハイクに参加した。受け付けをして、緑の旗をザックにつけ、トングとゴミ袋を持って出発した。ゴミを探しながら歩いていると、「ありがとうございます」と声をかけられたり、「クリーンハイクを実施しています」と呼びかけをしたり、和やかな山歩きであった。途中の見晴らし茶屋ではコーヒーが振舞われて、参加者同士の会話が弾んだ。〇名の参加で、〇キロのゴミを集めたそうである。しかしながら、ゴミが少ないがゆえに、清掃登山を通して登山者に自然保護を訴えることには判りにくさがあったように思う。今後は、どのように自然保護活動を共有・普及していくのが課題であると感じた。



見晴らし茶屋にてコーヒーでひと休み



今日のゴミの重量は？

## 川崎労山

野々村 明美

宮澤

「年に一度丹沢に恩返し」ということで今回初めて参加しました。

大倉尾根を堀山の家まで登山道沿いのごみを集めました。

6人で集めたゴミは7キロにもなり、山に人が入るだけでこれだけ環境に影響があるのだと実感しました。

山を単に消費、利用するのではなく、ささやかですがこういう活動にも参加していきたいです。

関野

何十年かぶりに参加しました。

当時の記憶はほぼありませんが、昔のごみを大分掘り出した気がします。

久しぶりに会えた方々、初めての方々と歩きながら話せて、ゆったり休めて良かったです。



本岡（会員外）

初めてクリーンハイクに参加しました。

気をつけているつもりでしたがゴミを落とさないように登山したいと思いました。お世話になりました。

石橋（会員外）

クリーンハイクという登山は初めての経験です。皆さん毎年参加されているようで素晴らしいと思います。誰かがやってくれるから大丈夫ではなく自分が少しでも役にたてればという気持ちが大切だと思いました。



野々村

会に入会する前、富士山清掃登山をテレビのニュースで見たことがあり興味？関心があったので入会後は毎回参加させてもらっています。

今回会員2名が膝や腰の調子が悪く急遽参加できなくなったので山友を誘ってみました。登山道はぱっと見は綺麗でゴミが落ちていないように見えますが目を凝らしながら歩くと小さなゴミが目にとまります。標高が上がるほど不燃ゴミが出没して過去の残骸ゴミはなかなかひらないんでね。

普段、ハイキング中にゴミを見つけてもあっと思いながらも素手だと汚いが先に立ってしまうのか一瞬躊躇しついつい通り過ぎてしまい跡からあー拾えばよかったと頭をよぎりますが戻った試しはなく時々罪悪感を抱いてしまうことがあります。たまにでいいから軍手を忍ばせて拾ってみるのも良いかもしれませんね。



## 糸山

開会式を終え、大倉を出発。いきなりバス停上の農家直販で100円野菜を購入する。新玉ねぎと今夜のビールのつまみ・そら豆を手に入れる。玉ねぎは少し重い。新しい靴は調子よさそうだ。だが1時間ほど歩いたあたりで踵が痛み始めた。もう少し歩いた所で我慢できず、絆創膏を貼った。

皆は登りながらゴミを見つけ、拾い集めている。埋まっている缶や瓶のかけら、ナイロン系の切れ端などよく見つけて拾っている。

今年は沢山拾ったといいなあ。集積場で計量したら、燃えるゴミ3キロ、燃えないゴミ4キロだった。意外と少ないもんだなあ。

皆さんお疲れ様でした。クリーンハイクはまだまだ続きます。積極的に参加しよう。



## 小田原ナーゲル山の会

石崎 淳一

### 感想文(1)イニシャル：I

5/28(日)空模様を気にしながらヒルの心配もしつつ、つぶらの公園から大野山に向けてクリーンハイク始まりました。登山道→山頂→林道と歩いて、一見無さそうなゴミも、6人集まれば目が行き届き意外な程の収穫がありました。

いつも思うのが、捨てていこう、置いていこうという人間の意思の元に落ちている物が殆どであり、缶やビン、あげくの果ては一升瓶まで。楽しんだあとの後始末こそが一番大切だと感じます。家庭粗大ゴミの不当投棄も多く、山が泣いてるな一と思いました。誰かが、海のゴミは全てではないにしろ巡りめぐって山から流れてきたもの、と言っておりました。自分の行動に責任を持つ、ゴミは持ち帰る、小学生に言うような言葉を大人達もしっかり実践していかなければなりませんね。

因みに、ヒルの被害はなく空は雲が多かったけど富士山だけが最後までくっきりと見え、手作りジャムも買えたし、ごみ拾いしながらいい汗かいて富士山見ながらおにぎり頬張り、今年も良き一日をありがとうございました。



感想文(2)イニシャル：N

丹沢 大野山クリーンハイク

山北つぶらの公園駐車場 9 時、ゴミ袋と軍手を携え、富士山を眺めながら総勢 6 名でスタート。出だしからゴミは思った程多くはなく、かなり年季の入った缶タブや腐食した缶などを回収しながら進む。最近のマナーも良くなったのか、目新しいゴミ類はあまり見かける事もなかった。ファミリーやカップルで賑わう大野山山頂では一升瓶や酒瓶など、登山者ではなく酒宴者と思われる落とし物が多数あり回収、結構重い。少しは山にお返しをすることは出来ただろうか？なんとなくほっとするクリーンハイクであった。

感想文 (3)イニシャル：I

クリーンハイクの担当を仰せつかって早 5 回目となった今回、目指すは丹沢大野山、当日は富士山の眺望も抜群だった。選り抜かれた精鋭 6 名による山登りが始まった。目新しいごみはごくわずか、昔の産物に手を焼きながらも無事にクリーンハイクを終えることが出来た。可燃物 4 キロ、不燃物 12 キロは立派な成果かと思う。下見では見えなかったゴミは、まだまだ山中にある。収集しなければ決して土には戻らずに残る厄介なゴミは、地道に回収せねばと思う。また新たな挑戦は続く。

アルパインクラブ横浜

外山 鉄也



アルパインクラブ横浜の外山です。

今回は塔ノ岳登山道の水場 2 か所の採水と道中のごみ拾いを担当させて頂きました。どれくらいゴミがあるのかなと不安でしたが、わざと捨てたようなゴミはほとんど見られず、小さなビニール片や大昔の缶・瓶がほとんどでした。道中、大勢の一般登山者の方から労いの言葉をかけていただき、楽しい山行となりました。(外山)

今回初めてやっと参加することができた登山道整備、大変興味深い経験をさせていただきました。神奈川パークレンジャーの浅見さんには多大なサポートを賜り、深謝申し上げます。作業内容は、1. 木製階段のボルト増し締めと 2. 段鼻が丸太で踏み面の土の階段の、踏み面が削れて凹み、丸太がハードルのようにってしまった箇所の補修です。作業量としてはそんなに貢献できず、体験の域を越えられなかったので、今度機会がありましたらもっと働きたいです。(連絡不備で小さいバックパックで参加してしまいましたが、次回はもっと石と

砂を運べます。運びます。今回あと 20kg は運べたと思いますので。) また藤沢山の会の方には鳥のことも教えてもらい、ありがとうございました。(神谷)

神谷さん同じく 10 年ほど前に登山道整備に参加してみたいと思って漸く初参加に至りました。荒れた登山道に木材・土嚢・石・砂利等を敷き詰め土の流れを防いだり、ザレた道でも人が通る道をコントロールする事で、植物が根を張り植生が蘇る連鎖になる事、ビフォーアフターの写真と共に説明を受けました。人が山に入る影響を思い知るのと同時に、一人一人の僅かな行動が山の保全に繋がるのだと考えさせられました！

整備活動自体は、20 名程で階段 4~5 段の整備が出来た程度。山道の整備には多大な労力が必要なんだなと実感しました。年 1 回の活動なので、参加者の体力に合わせて負荷を変えられる様にしても良いかなと思いました。同班になった藤沢山の会の皆さんにも、この場を借りてお礼申し上げます！（内藤）

藤沢山の会

柿木 都

藤沢山の会からは、総勢 16 名が参加させていただきました。大倉尾根でのクリーンハイク班の私達は、久々で会う仲間も混じえ楽しくお喋りしながら活動をしました。行き交う登山者から声を掛けていただき、この活動に関心を持って貰えていることが伝わって来ます。登山道を保持する為の水切りについて意味や整備の仕方を先輩から学び、土砂の除去作業をしました。「ゴミがほとんど無いですね？」と勇んで参加した初参加の方とはクリーンハイクのねらいについてじっくり話す機会にもなりました。途中で会ったある会の方は、「県連に加盟していないが大切な取り組みなので参加しました。」と聞きその方々の思いに感動しました。何時も感じますが、ゴミが目立つ一般道と比べ登山道は頗るきれいな環境です。この環境は山を愛する人々の思いや行動によって保たれていることを改めて感じた 1 日でした。



大倉尾根往復コースは初めての参加でした。

天気に恵まれてよかったです。往復なので登りながら下見、下りながらごみを拾う事にして緑の中をゆっくり登りました。

ごみ拾いはもちろん第二ミッションのクリーンハイク旗で活動の周知も忘れてはいません。大倉尾根コースに入っているグループもあったので、堀山の家で折り返すことにしました。メイン通りにはほとんどごみはないけど、脇に埋まっているものは沢山ありそう、掘り起こすのは「植物再生中」と言う事もあったので脇に入ったり掘り起こすのは止めにしました。昔のお休み処は埋めて処理をしていたとの事で埋まっている物はかなりあるらしいです。今回のゴミの量は多くはなかったが周知の活動は大切だと思います。参加くださった皆さまありがとうございました。



## ちょっといい話

川崎ハイキングクラブ 佐藤明子

◎ヤビツ峠～蓑毛であったいい話

5/28 (日) クリーンハイクより

大山を下り、ゴミの重量を量り、ヤビツ峠で「秦野駅」に行くバスを待っていたが、だいぶ待ち時間もあるので、「気持ちの良い山道があるので蓑毛まで歩きたい。」と担当に伝えて8人で歩き出す。コロナでできなかった雑談や昔話などしながら気持ちよく歩いていると??



今日のクリーンハイクの途中で何度か見かけた団体の若者のうちの5、6人が立ち止まり、1人が地面に座りこんでいた。何かと状況把握に数分後、KHCのメンバーが三角巾、テーピング、サポーター等をザックから出す。Oさんが即、応急処置にかかる。本人が靴を脱ごうとするのを止め、三角巾で足首を固定、処置が終わる。「三角巾は返さないでいいです。捨ててください」。手早い動作に私達は驚くばかり。手当を受けた本人は仲間の肩を借りて痛みをこらえての歩行。私達に礼を伝えてそのグループはヤビツ峠に戻って行った。

その前、大山への途中で、彼らのひとり、ラグビー部のリーダー?が、私達のゴミを拾っている姿に「次は手伝いに来ます」と言い、「毎年5月の最後の日曜日だから」と返したら、又追い越された時、「5月の最後の日曜日ですよね。」とmさんに確認したそうだ。

新人山行や教育部での応急処置で三角巾の使い方、スリングの結び方、解け難い靴紐の結び方、いつの間にかこんな場所で役に立つんだ。単純に喜べて、来年のクリーンハイクも楽しみです！（佐藤メ）



## ◎登山道整備

パークレンジャーからは、当日の振り返りとして次のとおりコメントをいただきました。

「丹沢の登山道や自然環境については、県による取組みだけでは保全していくことはできません。そこで、私たちパークレンジャーは、様々な県民協働の機会を通じて、登山者や県民の皆様に自然環境保全に係る普及啓発をしていくことが重要であると考えています。今回の丹沢クリーンハイクでは、勤労者山岳連盟に加盟する山岳会の皆様と一緒に補修作業を行うことを通じて、丹沢の自然環境の現状や課題、保護の取組みについて関心を持っていただけたのであれば幸いです。皆様におかれましては、今後の山行等を通じて、周囲の方にも自然環境保全の大切さについて伝えていただければと考えております。

私たちパークレンジャーは、日々丹沢の山々を巡視しておりますので、山行の中でお会いすることがあったら、お気軽にお声を掛けてください。」

この頃、丹沢の登山道で、従来の丸太横組みの階段（丸太筋工と言う）に代わって、縦板2枚に横板を1段に2枚ずつ並べた階段（構造型階段）が増えている。丸太筋工では階段部分の土が時間の経過とともに雨に流されて失われ、丸太部分がハードルのようにそびえて歩きにくくなり、登山者は登山道をそれて歩くようになり、植生が退化してゆく。構造型階段ではそのようなことがないが、縦板と横板を連結するボルトが経時的に緩むため、それを締め直すメンテナンスが必要となる。



また、まだ多く残っているハードル化した丸太筋工の間を埋める補修作業も必要である。本日の登山道整備ではそのような登山道の現状認識とそのメンテナンス・補修作業の実践が出来て非常に有意義であったと思う。講師のパークレンジャーの方の説明もわかりやすく聞いた。普段何気なく歩いている登山道にはそのような意味があり、その維持には多大な手間がかかっていることを噛みしめて次回の山行に臨みたいし、来年もまたこの取り組みに参加したいと思う。



## 川崎ハイキングクラブ

佐藤 修

日程：5月28日（日）

行程：ヤビツ峠 → 二ノ塔 → 三ノ塔 → ヤビツ峠

参加者：CL 川上勝、SL・感想 佐藤修、記録 佐藤寛

年に一度の丹沢クリーンハイク。

秦野のバス停は参加者や登山者で混雑するだろうと当初予定の電車より2本も早く家を出る。

案の定それでも秦野のバス停は想像を超える大行列で、3台目のバスになんとか乗ることが出来た。

ヤビツ峠で受付を済ませるが、登山道整備の市のパークレンジャーが人手不足で対応が難しいとの前触れでハイクからは3名の参加、他の山岳会も少なく計18名、9人ずつの2班

に分かれてパークレンジャーの指導を受けた。

車道分岐の途中より、各自 4~5Kg の砂利や石をザックに入れてポッカする。二ノ塔の手前の尾根で、パークレンジャーより登山道の植生について写真を使いながらの説明を受ける。登山道を整備して脇道をなくす事によって、その植生が回復していることを実感する。



今回の作業は、構造階段のボルトの緩みの増し締めと、登山道の凹地を土が流れないように石で囲い砂利を敷き詰めて踏み固める作業である。

登山道を整備し、登山者が脇道を歩くことがないようにするには、時間はかかる。しかし、それによって植生を回復し、維持することが重要回復し維持することが重要と痛感する。

メンバーのなかからは、年に 1 回ではなく 2 回でも良いのではとの感想もでるなど、登山道整備の重要性を実感した。



やま++ (ヤビツ峠～三ノ塔～二ノ塔)

慶越 真由美

このたびクリーンハイクに初めて参加させていただき、山と日ごろ登山道を整備して下さるみなさまへの感謝の気持ちでいっぱいの思いを述べさせていただきます。

今回、我々のチームが担当したのはヤビツ峠～三ノ塔～二ノ塔の登山道整備。本部のあるヤビツ峠でクリーンハイクと書かれた小旗、そしてビニール袋などを配布され、いくつかのグループと合体した登山道整備チームで入山しました。途中、県のパークレンジャーに案内してもらい、丹沢の整備体制、整備状況を聞くことができました。

この日の整備チームのミッションは、2 つ。1 つ目は登山道が崩落ないように砂利を引くこと、2 つ目は二ノ塔の構造階段のボルト締め。

1 つ目のミッション、砂利の敷き詰めは、まずは三ノ塔まで 5 k g の砂利の袋をザックに



詰めて運ぶ。我がチームの大黒柱はなんと 2 袋、10 kg を運んでいた！そして整備ポイントに小さな砂利を引きさらに土が流れないように大きな石を脇に並べる。あんなにあんなに苦労して皆で手分けして運んだ砂袋で整備ができたのは、たった数段。改めて登山道整備の大変さがわかりました。そして、パークレンジャーから、登山道でないところが踏まれ、雨で土が流れ、草花が育たずさらに土が流れ

ていくこと、荒れた登山道を手入れしたことで 10 年かかって今は草花がのびのび育っていることのお話をしていただき、とても大切な作業であることがわかりました。

## みずなら山の会

中島 剛

丹沢クリーンハイクの登山道整備に参加しました。日頃経験できない、石や砂利を使って登山道の修復したり、木道のボルトの増し締めを体験し、パークレンジャーの方から、登山道の修復の経過や様子を説明してもらい、よい勉強になりました。また、石を 5kg ほど運んで登ったのも良かったです。





## ◎前夜祭

高橋勇三（藤沢山の会）

クリーンハイクの当日は登山道清掃・登山道整備を実施しましたが、前日には丹沢の「水質調査」と「前夜祭」の行事がありました。

「前夜祭」を担当しましたが、例年だと大倉尾根の見晴茶屋に各会から40名位の有志が参集し夕刻から懇親会そして後半はアコーディオンの伴奏での「歌声」などをして親睦を重ね、山仲間の交流のイベントとして実施してきましたが、今回は、コロナの状況下につき役員等9人ほどで、夕刻から山小屋のテラスで星空のもとで山談議等で和やかに行いました。

翌朝は、皆さん前夜祭でパワーを充電され元気よく下山し、それぞれの配置に向かいました。

そして、10時頃からは、大倉を出発した清掃組の各パーティーがぞくぞく登ってきました、クリーンハイク当日の「見晴茶屋」は、大倉尾根を通る清掃登山コースとなっていますので往復の休憩場所として各パーティーの立ち寄り処となっています。

コーヒーのセルフサービスをセットしてゆっくり休んでもらいました、一時的には40名程の大賑わいのひと時もありましたが、各パーティーはゆったり休息をしていました。

二日間「見晴茶屋」を担当し、山仲間の交流・親睦の機会等に関わりましたが、このような側面からの後押しが、クリーンハイク成功の一助になればと思っています。

# 1986年～2023年のゴミ集計

年	86			1991			1992			1993			1994			1995			1996			1997			1998			1999					
	8	6	4	9	14	13	12	28	26	25	31	30																					
日	8			9			14			13			12			28			26			25			31			30					
	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計						
戸沢林道				16	23	39	118	319	436	(+大倉	245		133	26	27	53	27	196	223	280	14	294				202	332	534					
大倉尾根				39	52	92				尾根		(+三ノ塔	239	25	140	165	16	171	187								19	128	147				
西山林道														16	35	51	70	284	353														
県民の森				142	543	685														21	145	168											
塔ノ岳				109	81	189				(おハヶ沢)	358	(おハヶ沢)	292																				
丹沢山														20	130	150																	
大山														8.8	61	69	23	60	83	34	89	123	34	100	134	41	246	287					
日向薬師																																	
十六丁目																																	
岳ノ台														5.2	2	7.2	27	103	130	9	34	43	42	75.8	118	92	31	122					
二ノ塔				44	77	121	0	170	170				120	6.9	218	224	0	619	619	6	341	347	17	1015	1032	10	140	150					
三ノ塔							11	45	55					2	54	56	8	192	200	15	54	69	8.5	28	36.5	6	11	17					
新大日				33	13	48								5	77	82	2.2	65	67	0.5	50	51	2.8	302	305	22	147	169					
鍋割山																																	
くぬぎ山																																	
ヤビツ峠														8	87	95																	
その他						45			161							12				45													
不動尻																																	
西丹沢																																	
ゴミ量	22	23	200	326	1217.15			822			722			778			953			1905.6			1098.3			1624.5			1513.1				
参加者	84	134	84	487			169			218			248			199			372			243			322			362					
団体	9	みろく山の会	32	HAT-Jと共催			*NO2調査開始*自然保護団体の参加			*前夜祭シンポジウムに大沢氏(丹沢自然保護協会)梶谷氏(丹沢フナ党)参加			*前夜祭シンポジウムに梶谷氏、鈴木澄雄氏(丹沢フナ党)参加			*前夜祭、シンポジウムに白鳥氏(丹沢自然保護協会)和田氏(森の集會事務局)参加			*前夜祭、シンポジウムに奥野氏(丹沢自然保護協会)*フナ観察会報告書作成			*朝日新聞に掲載し、過去最高の参加(内一般143名)*報告書作成			*行政との話し合い(97年2月)*クリーンハイク実施後の行政への提案(山小屋の廃材、ゴミ処理の具休策を要求)*大日小屋の集中清掃の実施			*大山、表尾根コースに集中			*大学、高校生参加が増えている		
その他																																	

ミニクリーンハイク  
不燃物473kg+5

新大日、二ノ塔の集中清掃を実施  
\*大学、高校生参加が増えている

年 月 日	2000			2001			2002			2003			2004			2005			2006			2007			2008			2009			
	5			5			5			5			5			5			5			5			5			5			
	28			27			27			29			30			29			28			27			25			31			
	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計				
戸沢林道	28	179	207	90	215	305							0	7.9	7.9	17	23	40	15	16	31	2.3	0.2	2.5	10	41	51	0.1	6.3	6.4	
大倉尾根	74	234	308	33	418	451	60	152	212	909	73	83	25	217	243	28	161	189	23	104	127	18	68	84				0.2	52	52	
西山林道																									2.7	15	18				
県民の森	4.5	6	11	10	40	50							7.4	13	21	14	19	33	14	80	94										
塔ノ岳																		0	1	14	15	4.9	31	36				0	1.2	1.2	
丹沢山																6.5	26	32	15	38	53	2.4	26	28				0	15	15	
大山	12	21	33	22	56	78	57	152	209	84	139	222	25	123	149							11	66	77				2	14	16	
日向薬師										0	29	29	2	6	8							2.4	5.1	7.5				3	5	8	
十六丁目										29	338	368																			
岳ノ台				54	43	97	29	41	70	18	71	90	39	71	110							16	108	124				5	31	36	
二ノ塔							51	80	131	13	29	42	16	10	26	5	3	8	3	6	9	2	18	20				0	4	4	
三ノ塔							4	18	22	11	58	68	12	18	30	35	48	83	9	6	15	8.7	47	58							
新大日				45	100	145	14	105	145	5.4	50	56	6.2	36	42	9.5	25	34				4.2	56	60				0.2	17	17	
鍋割山																4	9	13	6.6	6	13	1	4	5				0.7	8.7	9	
くぬぎ山																3	6	9	14	9	23	8	16	23	9.4	6.9	16	0	28	28	
ヤビツ峠				6.2		6.2	0.1	78	78	0	40	40																14	2	16	
その他	16	16	31	40	156	204							4.1	36	40																
不動尻																															
西丹沢																															
ゴミ量	589.5			1405.5			871.5			1107.2			675.7			441			379			523.6			84.8			207			
参加者	178			254			351			353			348			380			253			400			85			333			
	*雨のため規模を縮小林道を中心に実施した *新大日二ノ塔の集中登山を実施(みろく山の会と共催)			雨のため規模を縮小林道を中心に清掃																					一般参加者は雨天のため中止。 林道清掃大ごみは市に報告						

年 月 日	2010			2011			2012			2013			2014			2015			2016			2017			2018		
	5			5			5			5			5			5			5			5			5		
	30			29			20			26			25			31			29			28			27		
	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計			
戸沢林道	23	35	58	32	33	65																					
大倉尾根	1.5	1.4	3				10	26	36	4	14	18	6	47	53	2.2	13	15	5	13	18	4.3	9.8	14.1	4.95	10.4	15.35
西山林道	24	34	58	0	9	9																					
県民の森																											
塔ノ岳							2	4	6	1	10	11	6	28	34	3	21	24	1	0	1	1.4	2.5	3.9	0.75	5.75	6.5
丹沢山							1	10	11				2	5	7												
大山				0	1	1	19	68	87	18	98	116	10	42	52	7	14	21	13	31	44	9	20	29	5.5	20.8	26.3
日向薬師																											
十六丁目																											
岳ノ台							0.2	3	3	17	13	30	1	0	1	3	15	18	1	0	1	0.5	0.5	1	0.2	0.8	1
二ノ塔													0	1	1							2.6	4.8	7.4	0.25	0	0.25
三ノ塔							15	32	47	0.3	14	14	2	2	4	3	14	17	3	5	8						
新大日										4	12	16							5	7	12	3.8	0.8	4.6	0.9	2.95	3.85
鍋割山							1	36	37	6	6	12	6	6	12	4	9	13	1	2	3				0.31	0.25	0.56
くぬぎ山	1.8	11	13				4	6	10	3	8	11	2	10	12	1	15	16									
ヤビツ峠	0	0.2	0.2										0	3	3							0.6	2.2	2.8			
その他				0.3	0.1	0.4																			11.5	11.5	
不動尻							7	36	43																		
西丹沢																0	5	5	1	1	2	0	6.5	6.5	3	20.5	23.5
ゴミ量	132			75.4			280			229			179			129			92			69.3			88.81		
参加者	94			80			291			326			337			270			288			229			227		
	雨天の為 一般参加 者は中止。 林道を清掃			雨天の為 林道清掃			例年より 一週間早 める。 水質調査 25名 登山道整 備48名 参加			ヤビツ峠増 発バスあり おかげで 行動が早 めに！ 大倉尾根 登山道整 備、みろく 山の会の 指導あり			天気は晴 一般参加 者は56名 ゴミ仕分け 説明が不 充分。大倉 大段募欲 しい。林道 もコース対象 に。			天気予報 が外れ。暑 いくらいの 日中。 西丹沢の 檜洞丸を 取り組む。			神奈川大学 ワンダーフォー ゲル部から 21名参加 登山道整備 では砂利 運びして 道を整え た。来年は 40周年を 向える								

年 月 日	2019			2020			2021			2022			2023		
	5			5			5			5			5		
	26									29			28		
	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計	可 燃 物	不 燃 物	計
戸沢林道															
大倉尾根	13.15	3.5	16.7							12.75	15.5	28.25	5.84	8.25	14.09
西山林道															
県民の森															
塔ノ岳	1.2	0.6	1.8							0.6	5	5.6	6.7	9.3	16
丹沢山															
大山	7.5	4	11.5							6	11.5	17.5	3.5	10.5	14
日向薬師															
十六丁目															
岳ノ台															
二ノ塔	12.6	2.5	15.1							8.25	5.25	13.5	3.2	5	8.2
三ノ塔															
新大日	4.6	0.7	5.3												
鍋割山															
くぬぎ山															
ヤビツ峠										5	8	13			
その他	4	0.9	4.9							0.1	0	0.1		0.1	0.1
不動尻															
西丹沢	2	1.5	3.5							2.5	5	7.5	12	4	16
ゴミ量	58.8									85.45			68.39		
参加者	165									98			80		
				コロナ禍 大規模行事 自粛のため 中止となる。			2021年3月 神奈川県 環境保全センター を訪問し、5月 または秋の実施 を相談したが、 コロナ急拡大で 中止となる。			2年間の中止を 経て、実施した。 各会、新スポ・ ウォーキング クラブの初参加 もあり、新たな 出発となる。					

## 労山自然保護憲章

登山は、自然と関わりが深い「スポーツ・レクリエーション」であり、豊かで多様な自然の中で発展してきました。山岳自然は人為に対して極めて弱い弱であり、一度破壊されると容易に復元しない特性があります。ところが近年、山岳自然の荒廃がめだち、登山文化がそこなわれる状況が生まれています。

日本勤労者山岳連盟（労山）は創立（1960年）以来、登山者の使命として自然保護問題に正面から取り組み、各地で自然を破壊し登山を阻害する開発に反対してきました。また、「山からゴミを一掃しよう」と取り組んだクリーンハイク運動は、登山者のモラルを高め、世論を動かし、山のゴミは著しく少なくなってきました。

かつて山岳自然保護の主な課題は乱開発から自然を守ることにありました。しかし、今やオーバーユース等の利用者自身による問題や、地球温暖化、酸性雨・霧など地域・国境を越えた地球規模の環境問題も重視されるようになり、自然を汚染・破壊する原因は多様・複雑になってきました。

そこで私たちは、登山文化の継承発展と、山岳自然と登山者との新しい共存をめざし、ここに「労山自然保護憲章」を定めます。

- 1 登山活動を通して、自然を見る目をやしない、自然の変化をとらえ、山と地球規模の環境保全に寄与します。
- 2 山を汚さず、山をいためず、傷つけた山を復元する努力は登山者の務めです。環境への影響を最小限にするため、「自然を傷つけない登山技術」を求め普及していきます。
- 3 多数が同時に行動する集団登山は自然への負担が大きいため、自然を傷つけないように創意工夫して取り組みます。
- 4 山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実にもとづいた判断で自然がそこなわれないよう努めます。
- 5 クリーンハイク運動に参加し、登山者のモラルを高め、山からゴミを一掃します。そこでつちかった力で、さらに多面的な自然保護活動を広げていきます。
- 6 山を汚染しない排泄物の処理方法や自然環境に配慮した山小屋やトイレを考え、山域にふさわしい対策の実現をめざします。
- 7 自分の好きな山「心のふるさとの山」を持ち、山の自然を学び、地域との交流や山麓の文化に触れるなど、自らの登山スタイルをめざします。
- 8 登山道、山小屋など施設整備は、自然への負担を最小限にとどめることが大切です。それらの設置・運営にあたっては、国や自治体、住民や所有者、登山者の合意形成を求めていきます。
- 9 住民や利用者の声を無視した「入山規制」、「入山料」ではなく、その声を生かした自然の保全管理を進めるよう国や自治体、所有者に求めていきます。

2006年2月19日 日本勤労者山岳連盟



## 神奈川県勤労者山岳連盟加盟団体

	団体名	
1	川崎勤労者山岳会	<a href="https://sangakukai.wixsite.com/kawasakirouzan">https://sangakukai.wixsite.com/kawasakirouzan</a>
2	川崎ハイキングクラブ	<a href="http://kawasaki-hc.life.cocan.jp/">http://kawasaki-hc.life.cocan.jp/</a>
3	川崎柴笛クラブ	<a href="http://shibabueclub.blogspot.com/">http://shibabueclub.blogspot.com/</a>
4	アルパインクラブ横浜	<a href="https://acy.jpn.org/">https://acy.jpn.org/</a>
5	藤沢山の会	<a href="https://fujisawa-yamanokai.com/">https://fujisawa-yamanokai.com/</a>
6	小田原ナーゲル山の会	<a href="https://nagel.jp/">https://nagel.jp/</a>
7	相模アルパインクラブ	<a href="https://sagami-ac.sakura.ne.jp/">https://sagami-ac.sakura.ne.jp/</a>
8	みずなら山の会	<a href="https://mizunarayama.com">https://mizunarayama.com</a>
9	さがみ山友会	<a href="https://sagamisanyukai.ciao.jp">https://sagamisanyukai.ciao.jp</a>
10	カモの会	<a href="http://www.kamonokai.com/hp/index.html">http://www.kamonokai.com/hp/index.html</a>
11	雪童の会	<a href="http://yukiwarabe.main.jp/wp/">http://yukiwarabe.main.jp/wp/</a>
12	地平線の会	<a href="http://tiheisen2000z.web.fc2.com/">http://tiheisen2000z.web.fc2.com/</a>
13	やま++	<a href="http://yamaplpla.sakura.ne.jp/">http://yamaplpla.sakura.ne.jp/</a>
14	山ブキの会	
15	山岳素行童人メーグリ家	<a href="https://www.iwaf.jp/club/syoukai/club/kantou/kanagawa/140307.html">https://www.iwaf.jp/club/syoukai/club/kantou/kanagawa/140307.html</a>
16	M&C	<a href="https://mandc.moo.jp/">https://mandc.moo.jp/</a>
17	Grazie	<a href="http://ocha-time.xsrv.jp/">http://ocha-time.xsrv.jp/</a>
18	銀嶺会	<a href="https://ginreikai101.wixsite.com/ginrei">https://ginreikai101.wixsite.com/ginrei</a>
19	SAWA MAFIA	
20		



第44回丹沢クリーンハイク報告集

2023年8月31日発行

神奈川県勤労者山岳連盟自然保護委員会

〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川 2-14-16 トーリックビル3F

TEL & FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>